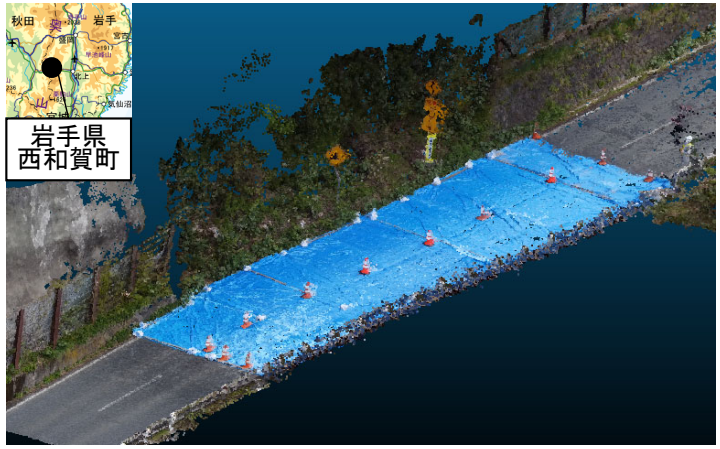
令和3年5月 国道107号（湯田ダム貯水池周辺斜面）で発生した地すべりへの技術支援

国立研究開発法人 土木研究所
PUBLIC WORKS RESEARCH INSTITUTE

わがぐん にしわがまち おおいし
○岩手県和賀郡西和賀町大石地内の国道107号（湯田ダム貯水池周辺）で発生した地すべりについて、岩手県及び東北地方整備局の要請を受け、土木研究所・国土技術政策総合研究所による現地調査を行った。地すべりチームでは、観測体制や対策工の検討に関する助言等の技術支援を行った。

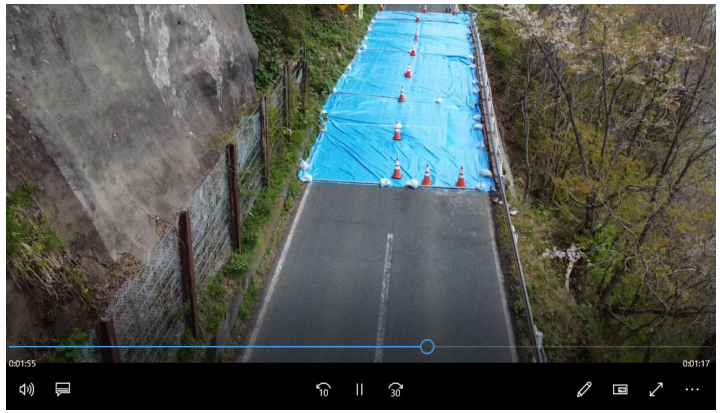
○道路管理・ダム管理それぞれの対応の基礎となる地すべりの発生状況の把握や対策の検討にあたり、点群データ等の「地すべりCIM」を活用した「災害現場の見える化」を行い、関係機関の共通理解の促進と対応方針の共有が図られるよう努めた。



UAV撮影動画から作成した
点群データによる「バーチャル現場」

現地調査（5月10日）

現地調査時にタブレットでCIMモデルを確認
（7月5日）


UAV撮影動画（5月8日東北地整撮影）

CIMモデルを用いた調査結果説明（5月10日）

CIMモデルを用いた調査結果説明（7月5日）